

# 子どもと保育者はどのように地域の身近な人と関わっているか？

——保育所の地域環境による違い——

山田 千愛<sup>[1]</sup>, 實川 慎子<sup>[1]</sup>, 栗原ひとみ<sup>[1]</sup>  
高木夏奈子<sup>[1]</sup>, 北田沙也加<sup>[1]</sup>, 高野 良子<sup>[1]</sup>

[1] 植草学園大学発達教育学部

本研究では、保育者の語りから保育所における地域の身近な人との関わりを検討した上で、地域環境との関係について明らかにすることを目的とした。保育所の保育者を対象とした半構造化面接の内容について Steps for Coding and Theorization (SCAT) を用いて質的分析を行った結果、「保育所の子どもと地域の身近な人との関わり」は2 カテゴリー、9 サブカテゴリー、12 構成概念、「保育所の保育者と地域の身近な人との関わり」は2 カテゴリー、7 サブカテゴリー、10 構成概念が抽出された。

その結果、保育所における地域の身近な人との関わりは地域環境や開設からの年数により異なっているが、園庭の有無における明らかな違いは見られなかった。また、全園で子どもは〔地域住民〕に対して〈挨拶・会話〉を行っていることから、子どもは日頃から地域の身近な人との関わりから、見守られている安心感や地域に対する親しみを感じていると考えられる。

**キーワード：**地域の身近な人との関わり 地域環境 用途地域 開設からの年数 園庭の有無ル教材

## 1. 問題と目的

「保育所保育指針」の保育内容の領域「環境」では「日常生活の中で、我が国や地域社会における様々な文化や伝統に親しむ」<sup>1)</sup> という文言が新しく加えられた。また、「保育所保育指針解説」<sup>2)</sup> では「小学生や中学生、高齢者や働く人々など地域の身近な人と触れ合う体験を重ねていく」(p. 72) ことが示され、保育所内だけでなく保育所外の地域の身近な人との関わりについても触れられている。同時に、「保育士等は、環境の中にあるそれぞれのものの特性を生かし、その環境から子どもの興味や関心を引き出すことができるような状況をつくらなければならない」(p. 242) とされ、子どもが地域の身近な人と関わるために、保育者は地域の特性を取り入れることが示されている。これらのように子どもが地域の身近な人と関わったり、文化や伝統に触れることにより地域社会に親しみをもったりすることが可能となるような保育計画の立案が保育者には求められ

ている。

保育所は様々な地域に設置されているが、最も割合が高いのは72%の住居系地域であり、次に13%の商業系地域、8%の工業系地域、7%の市街化調整区域と続く<sup>3)</sup>。このような地域社会において、保育所の99%は散歩をしており、80%は1週間に1回以上散歩をしている<sup>4)</sup> が、園庭のない保育施設はさらに散歩の頻度が高い<sup>5)</sup>。保育中に挨拶をしたり、庭や飼っている動物を見せてもらう等の地域の身近な人との交流がある保育施設は86.1%であり、地域の親子と一緒に遊んだり、子育てについて話したりする等の地域の親子との交流がある保育施設も83.2%にのぼる<sup>6)</sup>。神奈川県横浜市が独自に認定している横浜保育室は、認可保育所と比較すると商店街や道での「地域交流」を求めている<sup>7)</sup>。また、横浜保育室でも園庭がない場合は「施設・生活への関心」や「地域交流」を主な目的として商店街と積極的に関わっている<sup>7)</sup>。また、地域の人も94%が園外を歩いている子どもの存在を気にかけている<sup>8)</sup>

ことから、様々な地域にある保育所は、地域の身近な人と多様な手段を通して関わっているといえる。

しかし一方で、2014年には東京都国分寺市で送迎時の保護者を脅した疑いで保育所の地域住民が逮捕される事件が発生したり<sup>9)</sup>、2016年には千葉県市川市で地域住民の理解を得られず保育所が開設を断念したり<sup>10)</sup>している。このように保育所を利用している子どもや保護者と地域の身近な人との間に軋轢が生じたり、保育所開設に対して地域社会の理解が得られなかったりすることが社会的に問題となっている。また、首都圏の70%以上の保育所は「大声を出さない」「楽器を使わない」等、地域の身近な人への配慮をしており<sup>11)</sup>、保育所の子どもの声を騒音とする苦情、立地反対、訴訟について、地域の人の35%は「ある程度同感できる」「とても同感できる」と回答している<sup>12)</sup>。保育所は地域の身近な人と積極的に関わろうとしているが、同時に関係構築に難しさを感じているといえる。

家庭的保育施設を対象とした質問紙調査では、地域の特性により利用している地域資源に違いが見られることが明らかとなった<sup>13)</sup>。また、先述した通り1997年に始まった横浜保育室は認可保育所や園庭の有無により商店街との関わり方が異なっていることが報告されている<sup>14)</sup>。しかし、子どもや保育者による地域の身近な人との具体的な関わり方や、保育所の地域性、園庭の有無や開設からの年数との関連については触れられていない。保育所の数は増加傾向にある<sup>15)</sup>ことから、保育所における地域の身近な人との関わりでは、保育所の地域性や、園庭の有無、開設からの年数がどのように影響しているのかについて明らかにすることにより、保育所における地域社会とのより良い関係構築の示唆を得ることができると考えられる。散歩において保育所は近隣の人と交流しているが、園庭の有無が影響しないことを第一報として報告した<sup>16)</sup>。本研究では散歩に限定せず、保育所の子どもと保育者が実践している地域の身近な人との関わりにおいて、保育所の地域性や園庭の有無、開設からの年数はどのように関係しているのかについて明らかにすることを目的とする。

## 2. 方法

### 2.1 調査協力者

調査協力者はZ市の認可保育所6園(A～F園)の中で、保育所全体の役割を把握していると考えられる保育所の所長又は主任保育者9名(A園3名、B園2名、C園1名、D園1名、E園1名、F園1名)である。詳細を表1に示す。保育所の地域の身近な人との関わりには地域環境も影響すると考えられることから、「都市計画」における用途地域も調査した。「市街化調整区域」は都市の市街化を抑制すべき区域であり、建物の建築には許可が必要となる地域である。なお、「市街化調整区域」には原則として用途地域は定められていない。「第一種低層住居専用地域」は低層住宅のための良好な住居環境を守るために定める地域である。小規模な店や事務所をかねた住宅、小・中学校、保育所、診療所などが建てられる。「近隣商業地域」は周辺住民が日用品などの買い物などをするための地域である。住宅や店舗のほか、小規模な工場も建てられる。「商業地域」は銀行や映画館、飲食店、百貨店などが集まる地域である。住宅や小規模程度の工場を建てることも可能である。

### 2.2 調査方法

2017年12月から2018年6月までの期間にA、C、D、E、F園は各約1時間、B園は約1時間半の半構造化面接を実施した。

### 2.3 分析手順

調査協力者には面接前フェイスシート及び保育所周辺の地図に主な散歩先の印の記入を依頼し、半構造化面接時の参考資料とした。半構造化面接では「インタビューシート」を調査協力者に渡し、①散歩における保育所・保育者のねらい、②地域の人との交流、③保育所周辺の地域性、④保育所独自の保育環境、の4点について尋ねた。保育者の語りから地域環境における保育所の交流の実態を丁寧に捉えることができると考え、大谷によるSteps for Coding and Theorization (SCAT)の手法を参照して分析した<sup>17)</sup>。SCATとは、比較的小規模な質的データの分析に適しており、4ステップにより構成概念を抽出

するコーディングと、構成概念を紡いでストーリーラインを作成する手続きからなる分析手法である。コーディングの4ステップとは、①テキスト中の注目すべき語句の記入、②抽出したテキスト中の語句の言い換え、③②を説明するようなテキスト外の概念の記入、④全体の文脈を考慮したテーマ・構成概念の記入であり、必要に応じて⑤疑問課題の記入がある。本研究では抽出した構成概念を分析対象とする。

分析においては、まずA～F園から得られた全ての語りの逐語録を作成した。その後、SCATの手法を参照して構成概念を抽出した結果、A園が138、B園が573、C園が228、D園が148、E園が

211、F園が237となり、6園合わせて1535の構成概念が得られた。本研究では保育所が実践している身近な人との関わりに関する内容の構成概念の数はA園が32、B園が118、C園が43、D園が37、E園が57、F園が57となり、6園合わせて344となった。これらのうち、「子どもは～をしている」等の子どもと地域の身近な人との関わりについて語られた内容を「保育所の子どもと地域の身近な人との関わり」(以下、「子どもと地域の身近な人」)、「保育者は～をしている」等の保育者自身と地域の身近な人との関わりについて語られた内容を「保育所の保育者と地域の身近な人との関わり」(以下、「保育者と地域の身近な人」)に分けた。抽出された構成概念を「子

表1 調査協力園概要

園名	A 園	B 園	C 園	D 園	E 園	F 園
調査協力者	園長 副園長 主任	園長 主任	園長	主任	園長	主任
園児数	179 人	137 人	113 人	25 人	41 人	45 人
園庭	有	有	有	無	無	無
用途地域	—	住居系	商業系	住居系	商業系	商業系
	市街化調整区域	第一種低層住居 専用地域	近隣商業地域	第一種低層住居 専用地域	近隣商業地域	商業地域
調査時の 開設からの 年数	45 年目	42 年目	41 年目	3 年目	10 年目	9 年目
保育所・ 地域の特性	園内に豊かな自然をもつ。周辺にたけのこ園と観光農園もあり、自然豊かな環境である。	子育て支援施設が併設され、広い園庭を有している。閑静な住宅街の中にあるが自然にあふれている。	園庭が広く自然が多い。木をたくさん使ったアスレチック等ユニークな遊具がある。園周辺が集合住宅(団地)であり、公民館が隣接されている。	閑静な住宅街の一角に位置する木造で少人数による家庭的雰囲気がある。	集合住宅や工場地帯、商業地区にある。	園周辺は市の中心に位置する商業施設地域であり、授乳には対応していないが、赤ちゃんの駅として、商業地域の保育所としての役割を果たしている。
周辺 1km 圏内にある 施設	幼稚園(1)、保育所(1)、公立小学校(1)、公立中学校(1)、至近距離に私立大学もあり、1本むこうの国道沿いには飲食店や販売店も多い。	幼稚園(2)、保育所(1)、公立小学校(3)、公園(4)があり、道路を挟んで集合住宅があり、周辺は坂が多い。	幼稚園(2)、公立小学校(2)、スーパー(2)、小規模な商店街、公園(5)、交番、郵便局があり、近隣には乗馬クラブ、古墳、公共施設など様々なレジャー施設がある。	幼稚園(2)、保育所(1)、公立中学校、総合病院、集合住宅、至近距離に公園がある。	保育所(2)、幼稚園(1)、小学校(1)、中学校(1)、公園(5)、美術館、市役所等公共施設が多くある。市内のファミリー層の人気の高い公園が保育所から480mの距離(所要時間約10分)にある。	保育所(4)、小学校(1)、高校(1)、専門学校(6)、公園(11)、子育て支援センター、公民館等があり、環境的にも好立地にある。
交通手段	最寄バス停まで約300mと近いが、2つの駅まで約3kmある。しかし、園は駐車場も完備している。	最寄り駅まで約1.2kmと距離があるが、近くにバス停もあり、駐車場もある。	駅およびバス停より徒歩2分の所にあり、保護者の送迎の利便性もよい。	最寄バス停まで4分と近いが、駅までは徒歩19分を要す。住宅街にもかかわらず、駐車場を数台準備し、保護者の送迎に対応している。	交通機関へのアクセスがよく、2つの駅から各1分であり、保護者の送迎にも好立地の場所にある。	最寄駅より徒歩3分の所にあり、保護者の送迎の利便性もよい。

子どもと地域の身近な人」と「保育者と地域の身近な人」それぞれに全園で共通する内容に整理し、共通する構成概念の意味内容をまとめてサブカテゴリーを作成した。サブカテゴリーの上位概念としてカテゴリーを作成した。

## 2.4 倫理的配慮

調査協力者には研究目的の説明、個人情報守秘、答えたくない質問には回答しなくて良いこと等を書面と口頭で説明した。同意を得た上で、インタビュー内容をICレコーダーに録音及び筆記にて記録を行い、逐語録化した。本調査データは個人が特定されないよう匿名化処理を施した上で施錠可能な棚に保管し、筆頭執筆者以外の目に触れることのないようにした。なお、本研究は植草学園大学の研究倫理委員会の承認を得て行った。

## 3. 結果と考察

### 3.1 保育所における地域の身近な人との関わり

A～F園の調査協力者の語りを分析した結果、「子どもと地域の身近な人」に関連する構成概念は241あり、2カテゴリー、7サブカテゴリー、16構成概念となった（表2）。「保育者と地域の身近な人」に関連する構成概念は103であり、2カテゴリー、9サブカテゴリー、12構成概念となった（表3）。表2と表3の灰色に塗りつぶされた箇所は各園の園児数、園庭の有無、用途地域、調査時の開設からの年数等において特徴的と思われるものである。以下、文中では、カテゴリーを【 】、サブカテゴリーを〔 〕、構成概念を〈 〉で示す。また具体的な語りを「」で括り下線を付し、末尾の（ ）は園名を示す。さらに、当該の語りの意味内容を理解するために必要な先行の語りの引用や語の補足は「」中に（ ）で示す。

「子どもと地域の身近な人」と「保育者と地域の身近な人」に共通する内容として【地域の人】【地域の施設】の2カテゴリーが抽出された。保育所による地域の身近な人との関わりは、これらのカテゴリーにおいて実践されていると推測される。また、「子どもと地域の身近な人」と「保育者と地域の身近な人」に共通するサブカテゴリーは〔地域住民〕

〔地域の親子〕〔地域の施設・店舗〕〔地域の畑〕〔保育所〕〔学校〕〔管轄行政担当者〕の7サブカテゴリーであった。加えて「保育者と地域の身近な人」には〔卒園児とその家族〕〔管轄行政担当者〕の2サブカテゴリーが独自で見られた。〔卒園児とその家族〕は、保育者と、卒園児・卒園児の保護者や祖父母等との交流であり、〔管轄行政担当者〕は、園の責任者が子どもの安全な環境を求めて情報を共有している。「子どもと地域の身近な人」の構成概念である〈挨拶・会話〉は全園で共通して行われており、保育所の子どもは地域の身近な人と出会った際には挨拶や会話をしていることが明らかとなった。子どもと地域の身近な人との交流を「必ずする」「よくする」「たまにする」と回答した保育所の割合は90%を超えている<sup>18)</sup>ことから、子どもは日常的に地域の身近な人との関わりを経験しているといえる。

また、6園の保育者により語られた内容や構成概念には、保育所により大きく異なりを見せている内容がある。保育所による地域の身近な人との関わりについては、保育所の地域環境も関係していることが考えられる。そのことから、子ども及び保育者と地域の身近な人との関わりにおける特徴的な構成概念とサブカテゴリーの詳細を検討し、それらを保育所の地域性と関連づけて保育所が実践している地域の身近な人との関わりについての考察を行う。

### 3.2 A園の地域の身近な人との関わり

A園では「子どもと地域の身近な人」の構成概念が7、「保育者と地域の身近な人」の構成概念が2である。そのうち「子どもと地域の身近な人」のサブカテゴリーは〔地域住民〕〔地域の畑〕〔学校〕である。「子どもと地域の身近な人」の構成概念は〔地域住民〕が〈挨拶・会話〉〈特定の人との交流〉〈ペットとの触れ合い〉〈園の活動を通じた交流〉〔地域の畑〕が〈畑作業をしている人と挨拶・会話〉〈栽培作業〉、〔学校〕が〈小学校との交流〉である。

「子どもと地域の身近な人」のサブカテゴリーである〔地域の畑〕についてはA園のみの構成概念である。〈畑作業をしている人と挨拶・会話〉では「畑の作物を見せてもらったり、『何してるのー？』とか、『教えてくださーい』っていうふうに聞いて教えてもらったり」のように、A園の子どもは地域



の畑の作物や畑作業の様子を見て、疑問や不思議に思ったことをその場で尋ねていた。また、〈栽培活動〉ではA園の子どもに収穫する喜びや楽しさを感じてほしいと願っている地域の畑の所有者が子どもに「スイカ採りにおいで」と声をかけることにより、子どもは収穫する喜びや楽しさを感じていた。

A園は原則として土地の整地や新築等を行うことができない「市街化調整区域」にあることから、A園は園内に豊かな自然をもち、地域社会にも昔ながらの里山の風景が残っている。A園の子どもは〔地域の畑〕を通して、散歩や通園途中に見かける農作

物について理解を深めたり、野菜の収穫体験をしたりすることにより、地域の畑や作物により関心をもち、身近に感じるようになることが考えられる。

A園の「保育者と地域の身近な人」のサブカテゴリーは〔卒園児とその家族〕〔学校〕であり、構成概念は〔卒園児とその家族〕が〈卒園児とその家族との交流〉,〔学校〕が〈学校行事への参加〉である。

〈卒園児とその家族との交流〉について「Yさんなんかは卒園児ですよ。そういう方とかがずっとつながってて、で、そこから(他の人との輪が)広がってお手伝いに来るっていうことも」のように、A園

表2 保育所の子どもと地域の身近な人との関わり

カテゴリー	サブカテゴリー	構成概念	定義	構成概念の有無					
				A 園	B 園	C 園	D 園	E 園	F 園
地域の人	地域住民	挨拶・会話	地域で出会う人と挨拶・会話をする。	●	●	●	●	●	●
		特定の人との交流	地域の名前を知っている人物と関わる。	●	●	—	—	●	—
		ペットとの触れ合い	地域の人のペットと触れ合う。	●	●	—	—	—	●
		園の活動を通じた交流	地域の人と園の活動を通して関わる。	●	—	●	—	●	●
	園の活動の広報	地域の人に園の活動を知らせる。	—	●	—	—	—	—	
	地域の親子	親子と公園の共有	地域の親子と公園を共有して遊ぶ。	—	●	—	—	—	●
地域の施設	地域の施設・店舗	施設の利用	地域の公共施設を利用する。	—	●	●	—	●	●
		店舗での買い物	地域の店舗で買い物をする。	—	—	●	—	—	●
		施設・店舗の人との挨拶・会話	地域の施設・店舗の人と挨拶・会話をする。	—	—	●	●	●	●
	地域の畑	畑作業をしている人と挨拶・会話	地域の畑の世話をしている人と挨拶・会話をする。	●	—	—	—	—	—
		栽培活動	地域の人が所有する畑で栽培活動をする。	●	—	—	—	—	—
	保育所	保育所と公園の共有	近隣保育所と公園を共有して遊ぶ。	—	●	—	—	—	●
		保育所との交流	近隣保育所と一緒に活動をする。	—	—	●	—	—	●
	学校	小学校との交流	近隣小学校を訪問して関わる。	●	●	—	—	—	●
	保育者養成校	学生との交流	保育者養成校の学生と活動・交流する。	—	●	—	—	—	●

(灰色に塗りつぶされた箇所は各園に特徴的と思われるもの/構成概念が有る箇所は●、無い箇所は—で示す)

表3 保育所の保育者と地域の身近な人との関わり

カテゴリー	サブカテゴリー	構成概念	定義	構成概念の有無					
				A園	B園	C園	D園	E園	F園
地域の人	地域住民	園の物的環境を通じた交流	地域の人と園の物的環境を通して関わる。	—	●	—	—	—	—
		園の活動の広報	地域の人に園の活動を知らせる。	—	—	●	●	●	—
	卒園児とその家族	卒園児とその家族との交流	卒園児・卒園児の家族と園の活動を通して関わる。	●	—	—	—	—	●
		来園	卒園児・卒園児の家族が園に遊びに来る。	—	●	—	—	—	—
	地域の親子	子育て相談への対応	地域の親子の子育て相談に応じる。	—	●	—	—	—	●
		親子との交流	地域の親子と園の活動を通して関わる。	—	●	●	●	●	—
地域の施設	地域の施設・店舗	地域の店舗との交流	地域の店舗の人と交流する。	—	—	●	—	—	●
	保育所	保育所との情報共有	近隣保育所と連絡を取り合い交流する。	—	—	●	—	●	●
	学校	学校行事への参加	近隣小学校や中学校の行事に参加する。	●	—	—	—	—	●
	保育者養成校	学生・職員との交流	保育者養成校の学生・職員と交流する。	—	●	—	—	—	●
	管轄行政担当者	情報共有	管轄行政の担当者と情報を共有する。	—	—	—	—	●	●

(灰色に塗りつぶされた箇所は各園に特徴的と思われるもの/構成概念が有る箇所は●、無い箇所は—で示す)

は調査の時点で開設から45年目で、調査協力園の6園の中で最も歴史が長い。そのことからA園周辺に住む卒園児が卒園後もA園と交流をもち、さらに卒園児を介して地域の身近な人との輪が広がっていく様子が見られる。また、〈学校行事への参加〉では、「お互い様で、例えば中学校、小学校のバザーに手伝いに行ったりだとか、その地域の繋がり(中略)はできてるんじゃないかと思っています」のようにA園の保育者が、地域にある小学校や中学校の手伝い等で日頃から交流をしているといえる。

これらのことから、A園は周囲を豊かな自然に囲まれており、調査協力園の中で最も歴史が長い保育所である。A園の子どもは地域にある畑の作物の観察や収穫体験を通して、畑の世話をしている人と関わっている。また、大人になった卒園児が中心となりA園の活動に協力していた。さらに、A園の保育者は地域にある小学校や中学校の活動に参加することで、日頃から互いに積極的に協力しあっている。

### 3.3 B園の地域の身近な人との関わり

B園では「子どもと地域の身近な人」の構成概念が9、「保育者と地域の身近な人」の構成概念が5である。そのうち「子どもと地域の身近な人」のサブカテゴリーは〔地域住民〕〔地域の親子〕〔地域の施設・店舗〕〔保育所〕〔学校〕〔保育者養成校〕である。「子どもと地域の身近な人」の構成概念は〔地域住民〕が〈挨拶・会話〉〈特定の人との交流〉〈ペットとの触れ合い〉〈園の活動の広報〉,〔地域の親子〕が〈親子と公園の共有〉,〔地域の施設・店舗〕が〈施設の利用〉,〔保育所〕が〈保育所と公園の共有〉,〔学校〕が〈小学校との交流〉,〔保育者養成校〕が〈学生との交流〉である。

「子どもと地域の身近な人」の構成概念である〈園の活動の広報〉はB園のみに見られた構成概念である。「夏祭りとかね、運動会（前は地域のお宅を子どもと挨拶にまわります）」のように、B園は大きな音が出る夏祭りや運動会の前には、園周辺の住宅へ挨拶に伺っていた。「運動会への練習の音ですとか、夏祭りの太鼓の音が（近隣住宅に）聞こえているので、あの、それを聞いて『だんだん上手になってったよね』って、お褒めの言葉をいただくこともあるので、子ども達自身も喜ぶんです」のように、

B園の地域の身近な人は子ども達が挨拶に来ることを温かく受け入れ、子ども達も地域の人に見守られていることを実感している。子育てにおける地域の支えについて「とても重要だと思う」(57.1%)及び「やや重要だと思う」(33.8%)人の割合は90%を超えている<sup>19)</sup>ことから、大多数の人は地域での子育てや子どもの成長を見守り、支えていくことの重要性を認識していることが示唆された。住宅街の中にあるB園は地域の身近な人の生活に配慮すると共に、地域の身近な人もB園の保育に理解を示しているといえる。

B園の「保育者と地域の身近な人」のサブカテゴリーは〔地域住民〕〔卒園児とその家族〕〔地域の親子〕〔保育者養成校〕であり、構成概念は〔地域住民〕が〈園の物的環境を通じた交流〉,〔卒園児とその家族〕が〈来園〉,〔地域の親子〕が〈子育て相談への対応〉〈親子との交流〉,〔保育者養成校〕が〈学生・職員との交流〉である。

「保育者と地域の身近な人」におけるB園独自の構成概念として〈園の物的環境を通じた交流〉〈来園〉が見られた。〈園の物的環境を通じた交流〉は、「おばあちゃん、うちのニワトリに餌をやるのが楽しみです、毎日時間に来てパンの耳を持って来てくれて。（中略）外から届くところにいる」のように、B園の保育者は地域の高齢者がニワトリに餌をやる様子を温かく見守っている。また〈来園〉は、「いろんな子が突然訪ねてきた」のように、B園は調査協力園である6園の中で2番目に歴史がある園であり、園児数も同様に2番目に多いことから、これまで多くの卒園児を出している。そのため卒園児が保育者に会いに戻ってくることも日常的だと考えられる。

これらのことから、B園は周囲を住宅に囲まれており、全園の中でも2番目に歴史のある保育所である。B園の地域の身近な人はB園の活動に理解を示しており、また地域の身近な人や卒園児等がB園の物的環境や保育者を求めて来園する等保育所関係者と地域の身近な人との密接な関わりが見られた。

### 3.4 C園の地域の身近な人との関わり

C園では「子どもと地域の身近な人」の構成概念が6、「保育者と地域の身近な人」の構成概念が4である。そのうち「子どもと地域の身近な人」のサ

ブカテゴリーは「地域住民」「地域の施設・店舗」「保育所」である。「子どもと地域の身近な人」の構成概念は「地域住民」が「挨拶・会話」「園の活動を通じた交流」、「地域の施設・店舗」が「施設の利用」「店舗での買い物」「施設・店舗の人との挨拶・会話」、「保育所」が「保育所との交流」である。

C園の「子どもと地域の身近な人」において、C園は「地域の施設・店舗」の構成概念を3つとも含んでいる。C園の用途地域は「商業系」の「商業地域」であることから、C園は店舗や公共施設に隣接している。「店舗での買い物」では「大人と一緒に買いに行くってこととか、子どもに買ってきてもらうとか、というようなことは意識してやっています」のように、日頃からC園の子どもは地域の身近な施設や店舗の人との関わりがある。例えば節分の行事では、「『鬼は外、福は内』をあの、商売繁盛みたいな感じでやらしてもらって」のように、C園の子どもは地域の身近な店舗で節分の豆まきを経験している。子どもは伝統的な行事に触れるだけでなく、地域の身近な店舗の人達に見守られている安心感を得たり、役に立つ喜びを感じたりすることができるといえる。

C園の「保育者と地域の身近な人」のサブカテゴリーは「地域住民」「地域の親子」「地域の施設・店舗」「保育所」であり、構成概念は「地域住民」が「園の活動の広報」、「地域の親子」が「親子との交流」、「地域の施設・店舗」が「地域の店舗との交流」、「保育所」が「保育所との情報共有」である。

「保育者と地域の身近な人」の構成概念である「園の活動の広報」についてC園は「行事の時はあの、開放してますね、地域の方達に」のように、C園は行事を園関係者だけでなく、地域の身近な人へも開放して交流をしている。そのため「園庭の周りのところには（行事が）何月何日とかって貼ります」のように、地域の身近な人に行事の日程を知らせている。C園は園行事を地域の身近な人との交流の場にもして、互いの交流の機会を設けているといえる。

これらのことから、店舗や公共施設に隣接しているC園は地域の身近な店舗の中で買い物や伝統的な行事を行うことにより、積極的な関わりをもっている。このような経験を通して、子どもは社会のしくみに触れるだけでなく、地域の身近な施設や店舗

で働く人に温かく見守られている安心感を得ることができると考えられる。また、同時にC園は地域の身近な人にも園行事を開放していることから、地域の身近な人はC園の活動に触れる契機になるといえる。

### 3.5 D園の地域の身近な人との関わり

D園では「子どもと地域の身近な人」の構成概念が2、「保育者と地域の身近な人」の構成概念が2である。そのうち「子どもと地域の身近な人」のサブカテゴリーは「地域住民」「地域の施設・店舗」であり、構成概念は「地域住民」が「挨拶・会話」、「地域の施設・店舗」が「施設・店舗の人との挨拶・会話」である。

D園は住宅街の一角に位置しており、園庭がないことから日常的に散歩に出かけている。そのためD園では「子どもと地域の身近な人」の構成概念である「挨拶・会話」をする機会が多く、「子ども達に『元気だねえ』ってまた、あの応えてくれたり」のように、散歩を通して地域の身近な人との交流が行われている。地域の身近な人への挨拶をきっかけとして会話が生まれることにより、子どもは地域の身近な人に親しみをもち、社会で生きていく基礎的な力の形成にもつながると考えられる。

D園の「保育者と地域の身近な人」のサブカテゴリーは「地域住民」「地域の親子」であり、構成概念は「地域住民」が「園の活動の広報」、「地域の親子」が「親子との交流」である。

D園の「子どもと地域の身近な人」の構成概念である「親子との交流」では「公園にいる親子連れの方がいて、『もしよかったら（子育て支援活動に関するお知らせを渡して）どうぞ、こういうのやります』みたいな。やっぱりまずはここに保育園がありますよっていうのを知ってもらおうきっかけになってもらえれば」のように、保育者は散歩等園外で出会った親子に対して、D園の広報も兼ねて子育て支援活動の広報を行っている。また、D園は開設してから3年目であることから、地域の身近な人に保育所の存在や活動を周知しようとしている。

これらのことから、住宅街の一角に位置しているD園は、地域の中で出会う身近な人と積極的に挨拶や会話をして、地域の身近な人にD園で育つ子ど



も達のことを知ってもらったり、地域の親子を対象とした活動の広報をしたりしている。また、開設から3年目のD園は地域の身近な人と日常的な挨拶や会話を通して、地域で出会う人にD園を受け入れてもらい、温かく子どもの成長を見守ってもらえるよう、信頼関係を構築している段階にあるといえる。

### 3.6 E園の地域の身近な人との関わり

E園では「子どもと地域の身近な人」の構成概念が5、「保育者と地域の身近な人」の構成概念が4である。そのうち「子どもと地域の身近な人」のサブカテゴリーは〔地域住民〕〔地域の施設・店舗〕であり、構成概念は〔地域住民〕が〈挨拶・会話〉〈地域の特定の人との交流〉〈園の活動を通じた交流〉、〔地域の施設・店舗〕が〈施設の利用〉〈施設・店舗の人との挨拶・会話〉である。

E園は「商業系」の「近隣商業地域」にあることから、E園の周囲には住宅や店舗だけでなく、公共の施設や福祉施設等がある。そのため「子どもと地域の身近な人」の構成概念である〈園の活動を通じた交流〉では、「老人施設があるんで（中略）、七夕の時は笹を持って行列を作って、歌いながら、これから行くんです」のようにE園の子どもは七夕の行事を介して地域の高齢者施設と交流をしたり、〈施設の利用〉では「警察署も行き（中略）、パトカーに乗せてもらって」のように、地域の警察署を訪問したりしている。このようにE園は「近隣商業地域」の特性を活かし、地域で働いている身近な人との交流をもち、様々な社会生活に触れているといえる。E園の「保育者と地域の身近な人」のサブカテゴリーは〔地域住民〕〔地域の親子〕〔保育所〕〔管轄行政担当者〕であり、構成概念は〔地域住民〕が〈園の活動の広報〉、〔地域の親子〕が〈親子との交流〉、〔保育所〕が〈保育所との情報共有〉、〔管轄行政担当者〕が〈情報共有〉である。

E園の「保育者と地域の身近な人」の構成概念である〈情報共有〉では、「電話して、すごい（公園の木の）枝が子どもの目線で危ないので切っていたきたいとか（伝える）」のように、E園の保育者は日常的に利用する地域の公園で子どもの安全を脅かす環境がある場合には、公園を管理している管轄

行政担当者に都度連絡をしている。また、保育者は「地域の人との交流を持つのは非常に今、情勢的には危機管理上、難しいです」と語っている。前述したとおり、E園は「近隣商業地域」に位置しており、周囲は住宅だけでなく、商業施設も多い。日中、様々な人の出入りがある地域だからこそ、E園の保育者は不審者から子どもを守ることができるよう、意識を配っていることが考えられる。

これらのことから、E園の地域には住宅だけでなく公共施設や福祉施設等があり、そこで働く人との関わりが特徴的である。また、駅にも隣接している環境であることから、様々な人が出入りする地域でもある。そのためE園は地域の身近な人と関わりと同時に、子どもの安全面への配慮も求められることが難しさとしてあるといえる。

### 3.7 F園の地域の身近な人との関わり

F園では「子どもと地域の身近な人」の構成概念が11、「保育者と地域の身近な人」の構成概念が7である。そのうち「子どもと地域の身近な人」のサブカテゴリーは〔地域住民〕〔地域の親子〕〔地域の施設・店舗〕〔保育所〕〔学校〕〔保育士養成校の学生ボランティア〕であり、構成概念は〔地域住民〕が〈挨拶・会話〉〈ペットとの触れ合い〉〈園の活動を通じた交流〉、〔地域の親子〕が〈親子と公園の共有〉、〔地域の施設・店舗〕が〈施設の利用〉〈店舗での買い物〉〈施設・店舗の人との挨拶・会話〉、〔保育所〕が〈保育所と公園の共有〉〈保育所との交流〉、〔学校〕が〈小学校との交流〉、〔保育者養成校〕が〈学生との交流〉である。

F園の用途地域名称は「商業系」の「商業地域」であり、周囲を商業施設に囲まれている。用途地域が「商業系」の「近隣商業地域」であるC園と同じく、「子どもと地域の身近な人」のサブカテゴリーである〔地域の施設・店舗〕において〈施設の利用〉〈店舗での買い物〉〈施設・店舗の人との挨拶・会話〉の構成概念を3つとも含んでいる。「子どもと地域の身近な人」の構成概念である〈店舗での買い物〉では、「子ども達が数名お肉を買いに、給食今日のお肉なので一緒に行こうって」のように、近隣店舗に給食の食材を買いに行ったり、〈施設・店舗の人との挨拶・会話〉では、「交番の方はよく手を振っ



てくださるので、よく出てきて声をかけてくださったり」のように、子どもは散歩中に交番の警察官との交流をしたりしている。子どもは生活の中で地域の身近な施設や店舗の人と関わることで、社会生活における基礎的な力を培うことができると考えられる。

F園の「保育者と地域の身近な人」のサブカテゴリーは「卒園児とその家族」「地域の親子」「地域の施設・店舗」「保育所」「学校」「保育者養成校」「管轄行政担当者」であり、構成概念は「卒園児とその家族」が「卒園児とその家族との交流」、地域の親子が「子育て相談への対応」、地域の施設・店舗が「地域の店舗との交流」、保育所が「保育所との情報共有」、学校が「学校行事」、保育者養成校が「学生・職員との交流」、管轄行政担当者が「情報共有」であった。

「保育者と地域の身近な人」における「学校行事」について、F園の保育者は「参観日、一般公開の授業を見させていただいて」や「運動会とか、そう行事に関して、見に行くってこととか、卒園、卒業式、入学式に（中略）手紙を郵送するということは園からはやっている」のように、F園の保育者は地域の小学校と関わろうと意識しているといえる。また、「うちはとにかく入って上がっていただかないと園の様子が見えないので（中略）、ホームページであつたりとかってことで発信しようとか、あとは学校と連携をとって短大だったり、専門学校だったり園長が連携をとって（中略）発信して」のように、F園は外から園内の様子が見えづらい構造になっていることから、意欲的に様々な工夫をして、地域の身近な人との輪を広げようとしている。そのため「子どもと地域の身近な人」及び「保育者と地域の身近な人」の構成概念は両者とも全園の中で最も多い結果である。開設からの経過年数に関わらず、F園は地域社会において子どもが様々な人と関わって成長していけるような配慮を意識して行っているといえる。

これらのことからF園は店舗や公共施設に隣接をしており、地域の身近な店舗で買い物をしたり、地域の警察官に見守られながら散歩をしたりしている。地域の身近な人から園の活動の様子が見えづらい構造のため、F園の保育者は積極的に園の情報を

発信したり、小学校や保育者養成校と交流をとろうとしたりしているといえる。

#### 4. まとめ

本研究では、保育所による地域の身近な人との関わりと、地域性や、園庭の有無、開設からの年数との関係性について検討した。その結果、以下の3点について明らかになった。

第一に、地域環境や開設からの年数等により、地域の身近な人との関わり方は保育所により異なっていることが明らかとなった。「市街化調整区域」のA園は周囲を豊かな自然に囲まれていることから、A園の子どもは農作物の観察・収穫を通して地域の身近な人と関わっていた。用途地域が「住居系」のB園とD園は住宅街にあることから、地域の身近な人との交流が盛んである。特にB園は開設から42年目のためすでに地域の身近な人と密接な関係がある一方で、D園は開設から3年目であり地域の身近な人に積極的に関わろうとしている段階にあった。用途地域が「商業系」のC園、E園、F園は住宅だけでなく店舗や公共施設にも隣接しており、子どもは地域の身近な店舗や公共施設の人との関わりがあった。特に、C園は隣接している集合住宅の人に園行事を開放しており、E園は様々な人の出入りがある地域性のため、安全面の配慮に難しさを感じていた。保育者は地域の身近な人との関わりと同時に、不審者から子どもを守る必要もあり、その狭間での葛藤が見られた。F園は積極的な園情報の発信や近隣学校との交流を通して、地域の身近な人との関わりを形成していた。

第二に、「子どもと地域の身近な人」の構成概念である「挨拶・会話」は全園で行っていることから、保育所の子どもは散歩等園外に出た時に会う地域の身近な人と挨拶や会話をして地域の身近な人と関わっていることが明らかとなった。前述した通り、子育てにおける地域の支えを重要だと認識している人が大半を占めている<sup>20)</sup>ことから、子どもは挨拶や会話を通して、地域の身近な人に見守られている安心感や地域に対する親しみを感じていると考えられる。また、全園の中で開設からの年数が最も浅い3年目のD園は保育所の存在や活動を周知しようと

していることから、地域の身近な人に保育所への理解を示してもらうことや、地域の中にある保育所としての役割を模索している段階にあるといえる。

第三に、園庭の有無による地域の身近な人との関わりにおける明らかな違いは見られなかった。園庭の有無に関わらず、各園の保育者は地域環境の特徴から、地域の身近な人と関われるように配慮していることが明らかとなった。

以上のことから、保育所における地域社会とのより良い関係構築のためには、全保育所で実施されているように、子どもや保育者が地域の身近な人と挨拶や会話を通して親しみの気持ちをもつことにより、地域社会とのつながりの意識が芽生えと考えられる。このような地域の身近な人との日常的な関わりにより、保育所は地域の実態に見合った手段を見出すことが可能になるといえる。

地域の身近な人との関わりは保育所の方針、地域環境等により変化すると考えられる。今後は保育所による地域の身近な人との関わりがどう変化するのか継続的に検討していくことが課題である。

## 謝辞

本研究の調査にあたり、ご協力いただきました保育所の皆様に深く御礼申し上げます。

## 文献

- 1) 厚生労働省. 保育所保育指針. 東京, フレーベル館; 2017.
- 2) 厚生労働省. 保育所保育指針解説. 東京, フレーベル館; 2018.
- 3) 田中稲子・三輪律江・松橋圭子・谷口新. 横浜市中区における駅前保育施設の園外活動の場としての街区公園利用とその評価に関する研究. 日本都市計画学会都市計画論文集. 2009;44(3):373-378.
- 4) 太幡英亮・古川智之・恒川和久・生田京子・谷口元. 保育園児の散歩行動と街路環境の関係—名古屋市認可保育所での散歩行動観察を通じて—. 日本建築学会計画系論文集. 2013;78(689):1533-1542.
- 5) 松橋圭子・三輪律江・田中稲子・谷口新・大原一興・藤岡泰寛. 保育施設における屋外環境と園外活動の実態からみた地域資源のあり方に関する研究—横浜市を対象としたアンケート調査より—. 日本建築学会計画系論文集. 2010;75(651):1017-1024.
- 6) 太幡英亮・古川智之・恒川和久・生田京子・谷口元. 保育園児の散歩行動と街路環境の関係—名古屋市認可保育所での散歩行動観察を通じて—. 日本建築学会計画系論文集. 2013;78(689):1533-1542.
- 7) 小野壽美・伊志嶺美津子・櫃田紋子. 家庭型保育における地域交流に関する調査. 横浜女子短期大学研究紀要. 2004;19:55-67.
- 8) 長谷川育代・高橋久雄・松田典子・高橋紘・三浦修子・廣瀬優子・高橋滋孝・高橋智宏. 保育所と保育士養成校の連携による地域における子どもの安心・安全, 人的環境のあり方に関する研究. 保育科学研究. 2013;4:37-51.
- 9) 朝日新聞(2014)「おので保護者脅した疑い」夕刊. 2014/10/3
- 10) 朝日新聞(2016)「住民理解得られず 保育園の建設断念」朝刊. 2016/4/13
- 11) 高橋藍子・田中稲子・太田篤史・松橋圭子・三輪律江. 複合型保育施設と周辺地域をめぐる音環境その2施設外へ漏れる音とそれに対する意識. 学術講演梗概集. 2014:399-400.
- 12) エム・アール・アイリサーチアソシエーツ. 少子高齢社会等調査検討事業報告書. 厚生労働省. 人口減少社会に関する意識調査. 2015;80  
[http://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-12601000-Seisakutoukatsukan-Sanjikanshitsu\\_Shakaihoshoutantou/002\\_1.pdf](http://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-12601000-Seisakutoukatsukan-Sanjikanshitsu_Shakaihoshoutantou/002_1.pdf) (情報取得 2017/11/2)
- 13) 辻川ひとみ・中野明. 「個人実施型」家庭的保育施設の戸外活動と地域資源の関係に関する研究. 帝塚山大学現代生活学部紀要. 2016;12:49-56.
- 14) 前掲7)
- 15) 厚生労働省. 保育所等関連状況取りまとめ(平成31年4月1日). 2019.  
<https://www.mhlw.go.jp/content/11907000/000544879.pdf> (情報取得 2019/11/5)
- 16) 山田千愛・實川慎子・高木夏奈子・栗原ひとみ・高野良子・小池和子. 園外活動における子どもの発達を促す地域環境: 散歩を通した子どもの育ち. 植草学園大学研究紀要. 2019;11:53-63.
- 17) 大谷尚. 明示的手続きで着手しやすく小規模デー

- タに適用可能な質的データ分析手法. 感性工学. 2011 ; 10 (3) : 26-28.
- 18) 三輪律江・尾木まり・高辻千恵・田中稲子・谷口新・松橋圭子. 保育施設の「屋外遊戯場」としての公園の代替利用に関する研究：地域の住環境計画の視点による住区基幹公園活用を目指して. 住総研研究論文集. 2009 ; 35 : 131-142.
- 19) 内閣府政府統括官（共生社会政策担当）. 地域での子育て支援環境づくりについての意識. 内閣府政府統括官（共生社会政策担当）. 平成 25 年度「家族と地域における子育てに関する意識調査」報告書全体版. 2014.  
<http://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/research/h25/ishiki/pdf/2-3.pdf> 情報取得 2019/10/5)
- 20) 前掲 (19)



## Abstract

### **How do Children Interact with their Neighbors in a Local Community? Differences Depending on the Nursery School Community's Environment**

Chie Yamada<sup>[1]</sup>, Noriko Jitsukawa<sup>[1]</sup>, Kanako Takagi<sup>[1]</sup>

Hitomi Kurihara<sup>[1]</sup>, Sayaka Kitada<sup>[1]</sup>, Yoshiko Takano<sup>[1]</sup>

[1] Faculty of Child Development and Education, Uekusa Gakuen University

This study examined relationships between nursery schools and local communities based on data collected in semi-structured interviews with nursery-school teachers. The qualitative analysis of the data using the Steps for Coding and Theorization (SCAT), which focuses on “relationships between nursery school children and people in local communities” generated 12 concepts, nine subcategories, and two categories; the analysis of “relationships between nursery school teachers and the people in local communities” generated 10 concepts, seven subcategories, and two categories.

Our results indicate that relationships between nursery schools and local communities differ depending on the local environment surrounding the nursery school and the time since the nursery school opened. However, there was no significant difference between nursery schools with and without gardens. All nursery school children engaged in “greetings/conversations with people in their local communities”, which led to a sense of security and a feeling of being among friends who looked out for them and with whom they communicated on a daily basis.

**Keywords:** interact with the neighbors in a local community, environment, years since the nursery school opened, with and without gardens